

薬学部
人文社会学部
ヒューマンケア学部
健康メデイカル学部
健康医療スポーツ学部

学 力 試 験
国 語

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をよく読んでください。

- 一、試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
二、解答用紙は、マーク用解答用紙と記述用解答用紙が両面に印刷されています。
マーク式の問題はマーク用解答用紙に左記の例のようにマークしてください。

(例)

解答	
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
2	① ② ③ ● ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

※同じ解答欄に複数のマークをすることもあります

記述式の問題は記述用解答用紙に記入してください。

- 三、机の上には、受験票・鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り（電動式は除く）・時計（時計機能だけのもの）・眼鏡以外のものは置かないでください。
四、問題・解答用紙の両方に必ず受験番号・氏名を記入してください。また、受験番号をマークしてください。提出の前には記入漏れがないか再度確認してください。
五、問題は3問全問解答必須です。
六、試験中に問題冊子の印刷不鮮明・ページの落丁・乱丁に気付いた場合、また問題の内容について質問などのある場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
七、問題冊子の余白等は適宜利用して構いません。
八、配布された問題・解答用紙は試験終了後回収しますので、持ち帰らないでください。
◇携帯電話は、電源を切ったうえで鞆の中にしまってください。

志望学科・コースの上枠に○をつけてください（第一志望のみ）

受 験 番 号				
氏 名	志望学科・コース			

【問題二】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。ただし、①②は、段落番号である。

まず、決めることについて考えてみましょう。何も決めないときにはあらゆる可能性が開かれています。――ア――、結婚相手が決まっていらない段階では、未婚のすべての人と結婚する可能性が論理的にはあります。あくまでも論理的には、ですが。いったん結婚相手を決めると、他の人とは（しばらくの間は）結婚できなくなります。一人を選ぶということは、他の選択肢を閉ざしてしまうことです。

決めるということは――X――を意味するのです。私たちの人生はそうした選択の連続であり、選択は必要なわけですが、同時に恐ろしいことのようにも感じます。決定にはある種、a 残コクな面があります。私たちは日々、いろいろな選択をしますが、選んだものは意識する半面、捨て去ったものをふり返ろうとはしません。

当たり前だと思われるかもしれませんが。――イ――、政治において「決める」ことについて考えるときに、このことの意味が十分に考えられていないのではないかと思うのです。政治の世界では意思決定や政策決定の重要性が強調されますし、なかなか決断できない政治に対して、「決められる政治」を、という言い方もされます。政治とは決めるためにこそあるのだ、政治の本質は決定だ、という前提がそこにはある。しかし、そこから出発してしまうとき、I 見えなくなってしまうっている大事なことがあるのではないか。

大きく二つのことをつねに意識する必要があります。一つは、政治的な決定は重大な線引きをする点になります。それによつて、内側と外側とが切り離されるという点です。最も典型的なのは領土です。ある国の領土とされた土地は、他の国の領土とは考えられなくなります。国境線の設定は、多くの場合、たまたまそうなったということにすぎないのですが、にもかかわらず、いったん決まると、それを守ろうとする強い力がはたらく。それは、一度、国境線というものの流動化が始まると、II それは他の国境線にも及び、秩序が不安定化しかねないからです。国境線を定めることで、国家の権力がどこまで及ぶかが決まり、物事の秩序が整理されます。権力による保護の対象となる人びとの範囲も決まりますが、それは、対象とならない人びとが外へ追い出されることでもあるのです。国境線以外にも、さまざまな線引きがあります。たとえば、公害病や放射線被害などについて、補償の対象となる人びととそうでない人びととの間に線を引くことで、本来、対象となってもおかしくない人びとが排除されることも多いのです。

こうした、範囲をめぐる切断に加えて、二つめに何かを決めた瞬間を起点にして、その前後で物事の性格が変わるといふ点もあります。決めることで、時間的にもある種の切断が起こる。体制の選択や革命、戦争の開始などは、重大な決断ですから、誰しも時間的な不連続性を意識するでしょう。私たちは、先の戦争の前後という区分が、今でも意味をもっていると感じています。フランス革命の前と後といった区分は、フランスだけでなく世界の人びとにとつて、大きな意味をもち続けています。そうした大きな話に限らず、些細に見える決定であっても、それによつて人びとの時間は変わります。たとえば、ある税制の b ドウ入や補助金の廃止など、何らかの制度変更によつて、自分の仕事が大きな影響を受け、生活が一変することもある。健康被害への補償の場合、対象となる期間が限定されることによつて、排除される人びとも出るのである。

① たしかに決定といつても、個人的な決定と集合的な決定とは異なりますが、個人的な決定にしても、完全にその人が自由に行えるわけではありません。なんでも好きなようにできるわけではなく、いろいろな事情や制約条件がある。そして、私たちにとつていつも c 納トクがいく条件ではないのがふつうです。制約条件が私たちに押しつけられるわけで、そういう事情の中で個人の選択は行われる。だから

自分自身の選択ではあっても、不本意な場合もありうるのです。

② まして政治は、みなのことについて決める営みです。複数の人びとの間の集合的な決定にかかわるわけで、そのために、政治は個人的な決定とは別の水準の理不尽さをもたらすものとして、私たちに意識されることが多い。複数による決定ですから、自分の意のままにはいかないことも少なくないのです。全体を称する多数派の都合のために、自分が損をすることだってある。だからといっていつも従わなければ、決定すること自体が無意味になってしまいます。この世に自分一人だけで暮らしているわけではないですから、集合的な決定は避けられるものではありません。納トクはいかないけれども受け容れられないわけにもいかない。このあたりから、Ⅲ 政治というものにはある種の不愉快さ、押しつけがましさがつきまとうことにもなるわけです。

政治における決定の意味について、「誰が」「何を」「いつ」「どのように」決めるかという具合に分けて考えてみます。

(杉田敦『政治的思考』より)

問一 傍線部 a ～ c のカタカナ部分と同じ漢字を含む熟語を、次の中から一つずつ選びなさい。
解答は a ～ c の順にマーク用解答用紙の 1 に 3 にマークしなさい。

- | | | | | | |
|---|------|------|------|------|------|
| a | ① 告発 | ② 愛国 | ③ 過酷 | ④ 峡谷 | ⑤ 刻印 |
| b | ① 運動 | ② 協働 | ③ 歩道 | ④ 指導 | ⑤ 船頭 |
| c | ① 得点 | ② 特徴 | ③ 道徳 | ④ 監督 | ⑤ 匿名 |

問二 空欄 ア ・ イ に入る適切な語を、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。その際、同じ語を繰り返し選ばないこと。解答は ア ・ イ の順にマーク用解答用紙の 4 ・ 5 にマークしなさい。

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| ① なぜなら | ② けれども | ③ したがって | ④ ところで |
| ⑤ たとえば | ⑥ つまり | ⑦ そこで | |

問三 空欄 X に入る表現として最も適切なものを、次の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 6 にマークしなさい。

- ① 選ぶこと
- ② 引き受けること
- ③ 可能性を広げること
- ④ 憎むこと
- ⑤ 捨てること

問四 傍線部 I 「見えなくなってしまうって大事なこと」とは何か。筆者が指摘する二つの点について、本文中の語句を使って七十字以内（句読点、記号等も字数に含む）で説明しなさい。解答は記述用解答用紙に書きなさい。

問五 傍線部 II 「それ」は何を指しているか。最も適切なものを、次の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 7 にマークしなさい。

- ① 国境線そのもの
- ② 国境線を守ろうとする強い力
- ③ 国境線というものの流動化
- ④ 他国の国境線を超えようとする意志
- ⑤ 保護の対象範囲の確定

問六 段落 ①と②のつながりとして最も適切なものを、次の中から選びなさい。解答はマーク用
解答用紙の 8 にマークしなさい。

- ① 個人的な決定を原因とし、政治的な決定をその結果として示すつながり
- ② 個人的な決定と政治的な決定を対比し、議論を深めるつながり
- ③ 個人的な決定という一般論を、政治的な決定という具体例で補うつながり
- ④ 個人的な決定と政治的な決定を、同列の事柄として並べるつながり
- ⑤ 個人的な決定について、政治的な決定の説明で補足するつながり

問七 傍線部Ⅲ「政治というものにはある種の不愉快さ、押しつけがましさがつきまとう」とある
が、その理由として最も適切なものを、次の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙の
9 にマークしなさい。

- ① 政治家が自身の利益のために、国民に不利益な決定を押しつけることが多いから。
- ② 政治的な決定のプロセスは国民には見えにくいいため、知らないうちに不利益を被ることがあ
るから。
- ③ どのような決定にも必ず制約があり、すべての人が完全に自由な選択をすることは不可能で
あるため。
- ④ 多くの人にかかわる集合的な決定であるため、自分の意向に反しても受け容れざるをえない
場合があるから。
- ⑤ 少数派の意見を保護するため、多数派は自分たちの不都合を受け入れる必要があるから。

【問題二】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。ただし、①～③は、段落番号である。

自分がいる。この事実は、否定できない。私が、こう書きとめたとき、私は、書いているのは自分だ、と意識している。自分でも知らないうちに指が動き続けて、日本語の文字らしい a 模ヨウがディスプレイに生じた、というのではない。私は、自分が書いている、と自覚しながら、指を動かしていた。そのようにして、私は、自分でありえている（哲学あるいは心理学の用語で言えば、「自己」・「自我」（セルフ）でありえている、と言ってもいいが、この本では「自分」という、もっとも日常的な語を用いる）。

① では、魚や鳥、あるいは人間の新生児は、どうなのだろう。彼らにおいても「自分」が成立しているのだろうか？ もう少し正確に問い直そう。いまの私においては、自分というものが成り立っている。それと同じような仕方で、自分がいるという事態が、鳥や魚や赤ちゃんにおいても、成り立っているのだろうか？ かれらも、まわりの様子を認識し、周囲で起きていることに反応している。そのかぎりでは、かれらも周囲の世界を意識している。しかし、だからといって、魚や赤ちゃんにも、自分というものが備わっているのだろうか？

② かれらも、自分と、自分以外のものを区別している。タコは、自分の足は食べない。まわりでユラユラ動くものが見えたとき、それが自分の足なのか、自分とは別のものなのか。タコは、それをちゃんと区別できる。しかし、だからと言って、タコにおいても、自分がいるという事態が成り立っている、と言えるだろうか？

③ タコもコウモリも、障害物をよけ、敵から逃れ、餌に近づいていく。それができるという意味では、かれらも、自分がどこにいるかをわきまえている。というのも、目標物にたいして自分がどういう位置にいるか、ということが分からなければ、およそ目標物に向かって動くこともできないからである。目標との距離や方向を計算しながら、目標に向かって進むには、かなり発達した知能を必要とする（ちなみに、ロボットにそうした動きをさせるためのプログラムは、私たち素人から見ると、気が遠くなるほど複雑である）。

I このかぎりでは、タコもコウモリも、そして荷物運搬用のロボットも、自分のいる位置をわきまえている、と言っている。しかし、注意しよう。「かれらもまた、自分のいる位置を知っている」というのは、かれらの動きを b 観サツしている私たちによる描写である。かれら自身は、眼前の（コウモリなら「耳前」の？）風景の変化にあわせて動いているにすぎない。「あの方向に、これこれのもの」という情報が入力されたら、それに応じて「右斜めに少し前へ」というふうに反応する。それだけのことであって、「自分」というものがいて、その自分は、いま・どこどこにいる」といった考えを抱えているわけではない。

II こうしたことは、私たち人間でも、ありうる。みつともない話だが、ヘベレケに酔って帰るとき、私は、まさしくタコやコウモリと同じことをやっている。あるいは火事場のバカ力のように、文字通りに X の場合を考えてもいい。私は、ちゃんと目的に向かって、障害物をよけながら進んでいるのだが、自分でもそのことを知らない。そのときは、まさにコウモリなみに X なのであって、「自分」というものが存在し、その自分が、いま・どこどこにいる」と考えるゆとりはない。しかし、私たちは、ふと我に返れば（翌日目がさめれば）、どうやって辿りついたのか全く自分でも分からないながらも、「自分で動いてここまで来た」と思う。

私たち人間が、三百六十五日、二十四時間、のべつ酩酊状態や火事場のバカ力状態にある、などということは考えられない。もし、こんな人がじっさいにいたら、恐ろしい。その人は、なんらかの目的をもって身体を動かしているのだけれど、自分がそうしているということを、その人自身が全く知らない。

となると、「あなたは何をしてるの？」と聞いたところで、そもそも、その **C 質モン** の意味が通じない。かりに、その人が言語を使えるとして、の話だが。

タコやコウモリと、私たち人間の違いは、以上の確認をもにすることかぎり、はつきりしている。人間は、かれらとは違って、まわりのものごとを意識するだけでなく、「そう意識しているのは自分だ」ということをも自覚する。たんに、あそこに花がある、ということを意識するだけでなく、「私には、あそこの花が見える」、「私が、あの花を見ている」ということを同時に意識する。そうだとすると、タコやコウモリとは違って、私たち人間においては「自分がいる」ということの根本は、自分を意識している、ということにある。 **ア**、自分がいる、ということの一番の要は、自分を意識してゐる、ということである。

したがって、**Ⅲ 自分がいる**、というのは、奇妙な種類の事実である。少し難しい言い方になるが、ものの存在と、そのものについての意識とは、全く違う。背後霊のことを意識しているからといって、背後霊が存在する、ということにはならない。梅毒が「恋の病」としてしか意識されなかったからといって、その頃はスピロヘータ^注が存在していなかった、ということにもならない。このように、「ある」ということと、「意識されてゐる」ということは、一般には一致しない。ところが、自分にかんしては、その存在と意識が、切り離せない。自分が存在する、ということと、自分を意識しているということとは、切り離せないのである。

（大庭健『私はどうして私なのか』より）

注 スピロヘータ ……

スピロヘータ科の細菌の総称。トレポネマ、レプトスピラなど六つの属に分けられる。糸状でらせん形をなし、分裂によって繁殖する。梅毒・回歸熱・ワイル病などの病原体を含むが、非病原性のももある。（『デジタル大辞泉』より）

問一 傍線部 a ～ c のカタカナ部分と同じ漢字を含む熟語を、次の中から一つずつ選びなさい。
解答は a ～ c の順にマーク用解答用紙の 10 に 12 にマークしなさい。

- | | | | | | |
|---|------|------|------|------|------|
| a | ① 引用 | ② 遠洋 | ③ 寛容 | ④ 肝要 | ⑤ 異様 |
| b | ① 偵察 | ② 暗殺 | ③ 挨拶 | ④ 特撮 | ⑤ 印刷 |
| c | ① 名門 | ② 注文 | ③ 顧問 | ④ 聴聞 | ⑤ 家紋 |

問二 段落 1 ～ 3 のつながりとして最も適切なものを、次の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 13 にマークしなさい。

- | | | | | | |
|---|-------|---|-----------|---|-------|
| ① | 1 問い | ↓ | 2 結論 | ↓ | 3 理由 |
| ② | 1 問い | ↓ | 2 反論 | ↓ | 3 具体例 |
| ③ | 1 問い | ↓ | 2 問いの掘り下げ | ↓ | 3 具体例 |
| ④ | 1 具体例 | ↓ | 2 問い | ↓ | 3 結論 |
| ⑤ | 1 具体例 | ↓ | 2 問い | ↓ | 3 反論 |

問三 傍線部 I 「このかぎりでは」が直接修飾するのは波線部の中のどの箇所か（直接修飾とは、当該語が直接に係る語句を指す）。最も適切なものを次の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 14 にマークしなさい。

- | | | | | | |
|---|----------|---|----------------|---|----------|
| ① | タコもコウモリも | ② | そして荷物運搬用のロボットも | ③ | 自分のいる位置を |
| ④ | わきまえている | ⑤ | と言っている | | |

問四 傍線部 II 「こうしたこと」とは何を指すか。最も適切なものを次の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 15 にマークしなさい。

- ① タコやコウモリの動きはとても単純だということ
- ② 人間はいつも人間中心に考えてしまうという一般的な傾向のこと
- ③ 動物の行動を正しく知るには人間の視点を完全に捨てるべきだということ
- ④ 自分の行いを自分で自覚しないまま、刺激に反応して目的へ進んでいる状態のこと
- ⑤ 赤ちゃんには目的も判断もまったくなく、ただ無意味に動いているだけだということ

問五 空欄 X （二箇所）に共通して入る適切な語を、次の中から一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 16 にマークしなさい。

- ① 試行錯誤
- ② 無我夢中
- ③ 危機一髪
- ④ 傍若無人
- ⑤ 暗中摸索

問六 空欄「ア」に入る適切な語を、次の中から一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙の

17 にマークしなさい。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ① なぜなら | ② たとえば | ③ ところが | ④ ところで |
| ⑤ あるいは | ⑥ そこで | ⑦ つまり | |

問七 傍線部Ⅲ「自分がいる、というのは、奇妙な種類の事実である」とあるが、なぜ「奇妙な種類の事実」だと言えるのか。その理由として最も適切なものを次の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙の18 にマークしなさい。

- ① 「自分」という言葉は日常的に使うが、その意味を正確に定義することが非常に難しいから。
- ② 人間には「自分」があるが、タコやコウモリには「自分」がまったくないという、偏った事実だから。
- ③ 背後霊のように意識しても存在しないものと、スピロヘータのように意識されなくても存在するものがあるから。
- ④ 酔っぱらっている時など、自分を意識していなくても自分が存在している場合があるから。
- ⑤ ふつうの物はその存在とそれへの意識が別であるのに対し、「自分」の場合は存在することとそれを意識することが切り離せないから。

「問題三」 次の各問いに答えなさい。

問一 次のア～オの熟語の対義語を、後の〈語群〉からそれぞれ一つ選びなさい。解答は、ア～オの順にマーク用解答用紙の 19 ～ 23 にマークしなさい。

ア 抽象
イ 公益
ウ 拡大
エ 肯定
オ 主観

〈語群〉

① 否定 ② 印象 ③ 具体 ④ 私益 ⑤ 客観
⑥ 表層 ⑦ 急進 ⑧ 縮小

問二 次のア～オの慣用句の（ ）に入る語を、後の〈語群〉からそれぞれ一つ選びなさい。ただし、同じものは重複して選ばないこと。解答はア～オの順にマーク用解答用紙の 24 ～ 28 にマークしなさい。

ア 人の話に（ ）を挟むのは感心しない。
イ 根拠のないうわさに（ ）を貸すべきではない。
ウ せっかくの和やかな雰囲気（ ）を差す発言だ。
エ そばで眺めていて（ ）をこまねいているだけでは解決しない。
オ 新規事業に本腰を入れるため、（ ）を据える。

〈語群〉

① 舌 ② 腰 ③ 足 ④ 目 ⑤ 口
⑥ 耳 ⑦ 水 ⑧ 頭 ⑨ 手 ⑩ 髪

